

取扱説明書

Vetter



このたびは、カンツール取 扱 品 をお買 い上 げいただき まことにありがとうございます。

- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前に この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、大切に保存してください。
- 本書の写真やイラスト、色合いは実際とは多少異なります。

もくじ

止水プラグの安全 10 か条	3
作業フロー	4
接続方法	6
什	7

止水プラグの安全 10 か条

- 1. 自然流下の下水・排水管以外に使用しないこと。
- 2. プラグを設置した管の前方には扇形状に危険地帯が広がる為、立ち入らないこと。
- 3. ヘルメット、安全メガネを必ず着用すること。
- 4. 用途に合わせた適切なプラグを使用すること。
- 5. 圧力計は校正されたものを使うこと。
- 6. 使用前にプラグやホース類にキズや漏れ等の異常がないか点検すること。
- 7. 設置面は必ず事前に清掃すること。
- 8. プラグの空気圧を調整するときは、規定注入圧を厳守すること。
- 9. 最大許容背圧を厳守すること。
- 10. 背圧を完全に開放してからプラグを外すこと。

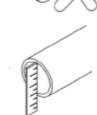
作業フロー

1. 準備

- 1. プラグやその他付属品の点検
- プラグにキズやひび割れがないか点検してください。
- エアーホースや注入バルブ等の汚れがないか点検して ください。



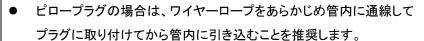
- 適正のサイズであることを確認してください。
- 3. 管の清掃
- 高圧洗浄、ワイヤーブラシ等でしっかりと管内に付着した 土砂を清掃してください。



直径分

2. 設置

- 1. プラグとエアーホースの接続
- コネクターはしっかり固定してください。
- 2-1. プラグの設置
- 空気を入れると伸長するので管口から、少なくとも管径分の距離をあけてください。



2-2. 空気注入

- プラグ注入圧までプラグを膨らませてください。
- 常に正しい圧力計を使用してください。
- プラグを膨らますときは、次のことに注意してください。

管からはみ出して膨らまさない!



枝管付近で膨らまさない!



管の外で膨らまさない!



尖った物の上では膨らまさない!





	2-3. 注入圧力管理、背圧の点検
	● 危険地帯には立ち入らないこと。
	● 規定注入圧までプラグを膨らませたら、注入圧の値を
	維持してください。また背圧も確認してください。
	● 異常が見られた場合はただちに作業を中止して
	弊社や販売店に相談してください。
3. 撤去	1. 背圧の取り除き
	● プラグの背面に溜まった圧力を開放してください。
	2. プラグの撤去
	● プラグの空気を抜きプラグを管から取り出してください。

<u>バックアップ</u>

背圧が限界や超過する恐れが予測される場合は、必ずプラグに支持補強し、 プラグが逸脱するのを防止してください。プラグに取り付けてあるアイボルト等は プラグの昇降用のため、脱落防止用器具として絶対に使用しないでください。



メンテナンス

使用後は、プラグを清掃し、点検を行ってください。

水、または薄い中性洗剤などで汚れを落としてから良く乾かしてください。 高温、多湿の場所は避け、 また直射日光や、紫外線に触れない場所で、40°C以下で保管してください。

長期間保管する場合は、ゴム保護用のクリーナーなどを薄く塗ることを推奨します。 垂直に吊るすか、水平に置いてください。 保管中、ゴムに折り目がつくことがありますので、軽く空気を入れて (0.007MPa 程度)保管することを推奨します。

接続方法

1. エアーホースのオスカップリングを、プラグのメスカップリングにカチッと音がするまで挿入し、 確実にロックしてください。カップリングを外すときはプラグのメスカップリングのスリーブをプラグ側に引くと外れます。



2. 圧力アッセンブリのコックを写真の通り閉め、エアーホースのオスカップリングに供給元のホース(メスカプラをご用意ください。)を差し込みます。



仕様

	品番	品名	適用管径	収益時直径 (mm)	シリンダ長さ (mm)	全長 (mm)	注入圧 (Mpa)	空気注入量 (#)	質量 (Kg)	最大背圧 (m)※
バイブシーリングバッグ	1440011700	RDK10/20	φ100~ φ200	90	510	555	0.25	40.3	0.9	8
	1440016700	RDK 20/50	φ200~ φ500	195	750	795		329	4.2	
	1440028200	RDK 50/100	φ500~ φ1000	450	1,110	1,155		1,525	23.7	
ミニバイブシーリングバッグ	1440018800	RDK 8/15	φ80∼ φ150	72	120	170	0.25	11	0.4	8
	1440010500	RDK10/15	φ100~ φ150	89	130	175		7	0.6	
	1440010600	RDK 15/30	φ150~ φ300	145	200	245		54	1.73	
バイブシーリングバッグCR	1440008100	RDK 7/15	φ70∼ φ150	68	300	345	0.25	14	0.6	8
(クロロブレンゴム使用)	1440008000	RDK15/30	φ150~ φ300	145	465	510		80	2.5	
	1440007900	RDK 30/60	φ300~ φ600	295	735	780		508	7.3	
	1480004800	RDK 60/120	φ600~ φ1,200	580	1,320	1,365	0.15	2,475	27	4
テストシーリングバッグ	1 441 022801	PDK15/30 FLEX1×2"OT	φ150~ φ300	145	460	500	0.25	87.5	6.2	8
	1441018701	PDK 30/60 FLEX 1 × 2" OT	φ300~ φ600	295	735	815		454~ 471	11~ 12	
	1 481 008501	PDK 50/100 FLEX 1 × 2″ OT	φ500~ φ1,000	450	1,110	1,155	0.15	1,475~ 1,525	27~ 36	

※最大背圧は、きれいな乾燥した鉄管で使用した時の静水圧です。

MEMO	



MEMO	



MEMO	



MEMO	





事業所名	所在地	TEL	FAX
本社	〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 1-3 ヨシヤ日本橋ビル 8 階	03-5962-3240	03-5962-3241
松戸テクニカル センター	〒271-0065 千葉県松戸市南花島字向町 315-5	047-308-2271	047-369-1161
東京営業所	〒271-0065 千葉県松戸市南花島字向町 315-5	047-308-3633	047-308-3634
東京営業所仙台オフィス	〒984-0831 宮城県仙台市若林区沖野 6-26-26 七ツ星ハイツ 106 号室	022-290-5262	022-290-5263
大阪営業所	〒536-0007 大阪府大阪市城東区成育 1-6-26	06-7711-3470	06-7711-3474
名古屋営業所	〒452-0822 愛知県名古屋市西区中小田井 2-486	052-504-2321	052-504-3614
北海道営業所	〒004-0031 北海道札幌市厚別区上野幌一条 4-1-3	011-801-8881	011-896-8885
九州営業所	〒814-0151 福岡県福岡市城南区堤 1-32-20 オフィスパレア堤I・3 号室	092-407-2433	092-407-2434